

日本での交換留学

東呉大学
コウ ガクケン
K2590013

あっという間に交換留学の時間が終わりました。出発前日は不安でいっぱいでしたが、日本での生活が本当に好きだと実感していたので、到着後すぐに馴染むことができました。

高校 2 年生の頃から日本留学に憧れていて、高校卒業後に語学学校への進学も決まりましたが、コロナの影響で一度は諦めることになりました。ですが大学 3 年生で再びチャンスを得て、日本に来ることができました。これまでの努力が叶ったようで、まるで夢のようです。

学業の方では、最初は授業についていけるか心配で、特にディスカッションや発表では、日本語でうまく自分の意見を伝えられず苦労しました。でも徐々に慣れて、自信を持ってできるようになりました。中でも印象に残っているのは、加藤先生の「日本語演習 2A」です。日本文化について学び、自分の考えを深めることができました。最後の発表では、自分の好きな日本文化をテーマに話し、大きな達成感がありました。

また、国際教育センターの着物や書道、浴衣教室などにも参加し、貴重な体験ができました。授業のない日は沖縄、長野、茨城、埼玉などを訪れ、日本の多様な文化と風景に触れることができました。限られた時間でしたが、毎日がとても充実していました。

この 4 か月の留学生活は、新しい知識を学べただけでなく、自分自身を深く知る機会ともなり、将来の目標もより明確になりました。

最後に、支えてくださった家族、先生方、国際教育センターの先生、音羽館の管理室と友人の皆様には心から感謝いたします。皆様の支えがあったからこそ、充実した留学生活を送ることができました。特に、指導教員の西坂先生とチューターの内田さんには心から感謝しております。西坂先生には、いつもいろいろなイベントに誘ってくださってありがとうございます。おかげで自信を持てるようになりました。そして、内田さんには、ずっとそばで支えてくれて、本当にうれしかったです。

この留学生活は、私の人生においてかけがえのない宝物です。皆さんのこれからのご活躍とご多幸を、心よりお祈りしています。

